自動車アセスメントロードマップ(2018)改訂版

				2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度~	
=	予防·衝突等総合安全性能			評価方法検討		普及方策の検討		評価			
			対車両対歩行者(昼間)	2014年度から評価 2016年度から評価		基準化を見据えた試験・評価方法検討 基準化を見据えた試験・評価方法検討					
	予		対歩行者(夜間・街灯あり)	試験•評価方法検討 評価							
	能	被害軽減ブレーキ	対歩行者(夜間・街灯なし)		試験·評価方法検討			評価			
			対自転車		調查·研究	試験•評価方法検討	予備試験		評価		
			交差点				調査•研究	試験•評価方法検討	予備試験	評価	
		高機能走行用前照灯		試験•評価方法検討	評価	<u> </u>	The transfer to the state of th				
		ペダル踏み間違い時加速抑制装置		試験·評価方法検討		評価	試験•評価方法再検討				
t		車両後方視界情報提供装置		2015年度から評価 車線逸脱警報装置は2014年度、車線逸脱抑制装置は2017年度から評価							
)		車線逸脱警報装置・車線逸脱抑制装置 その他運転支援技術(夜間前方歩行者注意喚起 装置、被害軽減ブレーキ[後退時歩行者]、被害軽 減ブレーキ[対向車]等)				車線逸脱警報装置は2014年度、車線	逸脱抑制装置は2017年度か	ら評価			
7	評							追加項目検討	調査・研究	試験•評価方法検討	
安全は目功恒	価	予防安全性能評価全体の総合的な安全性能		評価開始項目追加	・3段階評価(ASV+++追加) ・評価開始項目追加、社会損失額 換算の見直し等を踏まえた評価 実施	普及期の評価方法から競争期の評価 方法への変更検討	普及期の評価方法から競 争期の評価方法への変更				
功	衝	衝 突 安 全 性	前 面 (フルラップ)	試験・評価方法の検討	助手席に小柄なダミー搭載、 高齢者を考慮した閾値等への変更		高齢者を考慮した閾値等へ の変更(助手席)	- 前面(MPDB)と併せて試験・評価方法再検討			
			前 面 (オフセット)	試験・評価方法の検討			高齢者を考慮した閾値等へ の変更(後席)	HIJEHUMI DDJCJI & C	PNッ大 6T III// 1公171失67		
当	突		前面 (MPDB)				調査・研究 (含THORダミー)	試験・評価方法検討 (含THORダミー)	予備試験 (含THORダミー)	評価	
ついる対策	全		側面	試験•評価方法検討	運転席ダミーを変更、 衝突模擬車両を大型化等						
臣			後面頚部保護	ダミーの校正方法の明確化		試験·評価方法再検討					
			助手席・後席 シートベルトリマインダ	2011年度	から評価	試験·評価方法再検討					
	能	歩行者保護	頭 部	2003年度から評価							
	110	少11 日 休設	脚 部	2011年度から評価							
	子の他衝突安全技術(スモールオーバラップ、ポール側突、後突燃料漏れ、後席の頚部保護、ファーサイド側突等)						追加項目検討	調査•研究	試験•評価方法検討		
	ІШ	サイド側突等) 衝突安全性能評価全体の総合的な安全性能		評価方法の検討	評価方法の変更、被害軽減効果の 精査等を踏まえた評価実施						
-	事故後被 害軽減性 能評価	減性 事故自動通報装置 而		事故自動通報装置装備車種の公表		次世代/法規対応 試験·評価方法検討	試験·評価方法変更				
, (CRS安全	全前面衝突時安全性能		調査•研究	3才児ダミーを変更						
安全 RS	性能評	· 使用性				2001年度	から評価				
及	m Kmit 客発		i-size対応CRS等の普及方策の検討								

- ※1 赤字・白字は新規追加。
- ※2 水色は新規試験項目の調査・研究等。緑(淡)は実施済または決定済。緑(濃)は実施済項目の変更検討または変更予定等。白は未実施。
- ※3 見直し対象の項目を検討するサイクルは、基本「見直し対象項目・スケジュール検討→試験・評価方法見直し検討→試験・評価方法変更」という3年単位で行うものとする。
- ※4 適宜見直しを行うため変更があり得る。